

西宮市議会議員  
無所属・市民派

# よつや薫の市議会報告

《E-Mail》kahoru\_y-net@nifty.com  
《ホームページ》http://homepage2.nifty.com/kirari-k-net/  
《ブログ》http://kirarinet.exblog.jp/

よつや薫

検索

2012  
春号



なくそう！議員特権

**原発問題** この1年間、一般質問ごとに原発関連の質問をし、3月議会でも食品の放射能検査について質問しました。また、昨年から自宅付近で空気中の放射線量を測定し、その値に変化がないかチェックしてきました。4月22日現在、関西電力の各原子力発電はすべて運転を止めています。このまま原発に依存しない社会に直結させていくべきと考えます。

手にしているのは2月11日付毎日新聞意見広告  
4月10日夙川公園



## 《原発再稼働とガレキ広域処理》

### “大飯原発再稼働” 急ぐ政府…福島第一はまだ危険な状況です

福島原発事故を繰り返さないための基準もないのに再稼働

大飯原発は西宮市から80Km

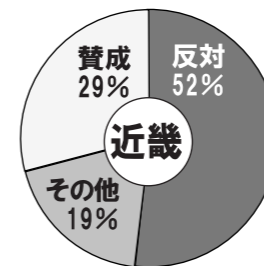
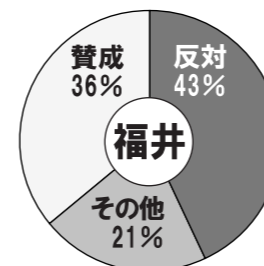
5月5日に北海道電力泊原発3号機が定期点検のため運転を停止すると、全国の全ての原発がストップします。

政府はこの「原発ゼロ」の長期化を避けるため、関西電力大飯原発3、4号機を5月5日までに再稼働させようとしています。京都、滋賀の各知事が求める再稼働のために必要な安全性の確保も充分ではありません。

原子力安全・保安院は、大飯原発のストレステストの審査の判断基準を「福島原発事故を繰り返さない」としていますが福島原発自体がまだ危険な状況を脱していない中でどうして「福島原発事故を繰り返さない」基準がつけられるのでしょうか。

いまだ福島第一原発事故の原因究明もなされていません。しかも、ストレステスト自体は再稼働のための条件ではないという専門家の指摘もあります。

### ■大飯原発の運転再開に…



朝日新聞4月24日朝刊より（朝日新聞世論調査）

## よつや薫 収支報告 2012年1月～3月

収入の部		支出の部	
議員報酬	2,061,000	所得税	185,400
		国民年金	45,060
		県市民税	166,000
		国民健康保険	219,000
		議員互助会	9,000
		通信・広報費	316,775
		議員活動費	369,445
		選挙準備費	150,000
		生活費	600,320
合計	2,061,000	合計	2,061,000

※「議員活動費」には、議員としての事務費、交通費、各団体への会費、議会で使用するパソコン、人件費、活動用車両の維持費、ガソリン代、駐車場代、ホームページ維持費、プロバイダー代、電話代などを含んでいます。

## 政務調査費収支報告(11年6月11日～12年3月)

交付額		支出	
	550,000	調査研究費	85,955
		研修・会議費	45,180
		資料購入費	107,067
合計	550,000	支出合計額	238,202
		返還予定額	311,798

### 政務調査費の交付申請について よつやの考え方

西宮市議会議員の政務調査費の交付額は月額15万円。年額180万円です。

「半額(年額90万円)に削減すべき」と主張してきた立場から2011年6月11日～2012年3月31日は55万円(通常145万円)に留めました。上記の「311,798円」を返還する予定です。

☆ この通信発行に関わる費用はよつや薫の私費です。上記のとおり、政務調査費からの支出はありません。

☆ ブログも更新中!! ぜひのぞいてみてください。  
⇒ <http://kirarinet.exblog.jp/>

お気軽にご参加ください

次回の **キラリ★かおる市民ネットの会議**  
6月17日(日) 午後2時～4時  
テーマ：6月議会展望 会場は未定  
会場は決まりしだいメールマガジンやネット上でお知らせします  
ぜひ、電話やメールでもお問い合わせ下さい。



## キラリ★かおる市民ネット通信 No. 20 《2012 春号》

【発行】よつや薫（西宮市議会議員）  
〒662-0965 西宮市郷免町3-22  
TEL/FAX 0798 (22) 8832 議員控室 (35) 3539

## 2012年6月 市議会日程

6月15, 18日 本会議 議長等議会役職の選挙選任  
(キラリかおる市民ネットの予定。下記参照)  
6月17日 本会議 提案説明  
6月20日 本会議 一般質問、請願・陳情締め切り  
6月26日 本会議 一般質問  
6月27, 28日 本会議 一般質問  
6月29日 本会議 一般質問、質疑、委員会付託  
7月3, 4日 常任委員会(4委員会同時開催)  
7月5日 病院問題特別委員会  
7月6日 本会議 委員長報告、討論、採決、

傍聴にぜひ、  
お越し下さい。

## ● INFORMATION

### 市民オンブス 西宮

#### 定例会

■5月4日 14:00～16:00  
■会場：ウェブ  
(通常の定例会は下記のとおりです)

■毎月第一金曜 18:30～20:30  
■会場：ウェブ  
(変わることがあります。ご確認を)  
□連絡先：TEL 0798-52-9157(折口)

### 女・女西宮

#### 女・げんき・ビデオ&トーク

■毎月第二金曜日 19:00～  
■会場：ウェブ411学習室  
□連絡先：Jo.jonisinomiya2010@yhoo.co.jp

## 編集後記

5月5日に「原発ゼロ」の日を迎えることもあり、原発・放射能問題などを中心の誌面にしました★市への意見・要望をネットなどで受ける「市民の声」などにはガレキを「受け入れるべき」という声は25件に対して、「受け入れに反対」という声は223件にのぼっていました(4月17日現在)。★第18号では西宮市が被災ガレキ受け入れに慎重な態度であることを伝え、私も受け入れるべきでないとしていました。それに対してある市民から「被災者が気の毒ではないか」とのご批判を受けました。ご意見は真摯に受け止めたが、放射性物質に汚染されたガレキという問題は阪神大震災でお世話になった恩返しとして同列に語れないものがあり、第一義的には市民や職員の安全と環境保全の責務がある市の当初の姿勢はどこまでも評価すべきでした

## 内部被ばく

## こうすれば

## 防げる!

放射能を21年間  
測り続けた  
女性市議からの  
アドバイス

●放射能の正しい測り方  
●行政・学校の動かし方  
●危険な食品の見分け方  
徹底的にわかりやすく  
お教えします!

監修：菅谷昭  
著者：漢人明子

★3月11日野田首相の「国民性が試されている」発言にはア然となりました。国民主権のこの国が国家総動員法の時代に逆戻りしたような錯覚を覚えます。本当に試されているのは首相自身、そして東京電力の責任です★4月15日小金井市議・漢人明子さんの講座が尼崎市であり伺いました。食品の放射能測定を21年間続けてこられ『内部被ばく』こうすれば防げる(写真)という本にわかりやすくまとめられています★(四津谷薫)

市政に関するご意見、よつや薫の通信へのご意見感想など、なんでもお寄せ下さい。TEL/FAX 0798 (22) 8832

●「よつや薫の市議会報告」にかかる費用はすべて私費で賄い、発行にあたってはキラリかおる市民ネットのボランティアに支えられています。●

## 電力自由化を生かした競争入札で、 もっと電気料金の節減ができたのではないか

### ☆よつやの質問

電力自由化と調達先の拡大以来、2007年度から西宮市も本庁舎をはじめいくつかの施設で、競争入札を行ってきた。2010年度の競争入札の効果は、合計約5200万円の削減であった。

水道局は、これまでなぜ競争入札をしてこなかったのか。また、今後の方向性としてどう考えるか。

### ■水道局の答弁

電力調達経費の削減について平成18年度から検討してきた。

水道施設の統廃合、整備が平成24年度に目途がつくので競争入札等の電力調達方法について25年度を目途に比較検討、必要な準備を進める。

### ☆よつやの質問

学校園や公民館は、電力料金抑制のため、競争入札を検討されてきたか。また、今後の方向性としてどのように考えるか。

### ■教育委員会の答弁

小中学校の電力調達については具体的な取り組みには至っていない。入札による電力調達契約も含め、より合理的な電力削減方法を見出していく。

公民館においても電力調達契約の見直しも必要と考える。関係者との協議・検討を進め、スケールメリットの効果について、今後のエネルギー自由化市場の推移を見守りながら比較検討していく。



### 答弁に対するよつや黨の考え方

電力調達について、西宮市は他市に先駆けて、独占的に高い電気料金を設定してきた関西電力だけでなく特定規模電気事業者(PPS)も参加する競争入札による電力契約を本庁舎や下水各施設、中央病院などで実施してきました。

今回は、その実績を前提に、これまで競争入札をおこなってこなかった水道局と教育委員会の各施設について「なぜ、競争入札を行ってこなかったのか」という質問をしました。

水道局は統廃合などの事情から踏み切れなかったのですが、今後検討する、との答弁には大いに期待できます。

一方、教育委員会では、学校園や公民館などで、当初から検討し、実施すべきでした。仮に教育委員会が競争入札を実施していれば削減できたかもしれない額は、施設の多さから見て、本庁舎などの削減額よりもはるかに大きな数字だったのではないかと推測できます。市役所の電気料金の節減というだけでなく、社会全体のエネルギー需給のあり方に転換を促すものでもあります。

## HF 蛍光灯へ “一斉” に転換すれば節電と経費節減が図れる

### ☆よつやの質問

i 本庁舎等で従来型の蛍光灯から HF 蛍光灯への更新を徐々に進めているが、従来型を長く使うことによって経費がかさみコスト高になるため、一斉更新すべきと考えるがどうか。

また、予算編成上よりスムーズな移行を進める方法としてリース契約の選択肢もあるがどうか。

ii 学校施設および公民館の蛍光灯についても、同様に、一斉に更新し、競争入札・リース契約の選択肢はどうか。

### ■教育委員会の答弁

i 学校施設の蛍光灯について、インバーターを利用して消費電力を低く抑える HF 型蛍光灯を整備している。一般競争入札やリース契約で、一斉に整備することについては、他市の事例を参考として研究していきたい。

### ■教育委員会の答弁

ii 公民館では、平成11年以降、新增改築の5館で HF 型蛍光灯を設置している。HF 型蛍光灯への更新によって経費節減が期待できることから、初期費用が減額できるリース契約も選択肢の一つとし、費用対効果の面を含め研究していく。

### 答弁に対するよつや黨の考え方

従来型の蛍光灯は使えば使うほど、電気とその電気料金の無駄使いとなり、すべてを一斉に更新することによって、一挙に省エネと経費節減も図れる、という提案の質問でした。しかし、教育委員会の「研究していく」という答弁は「ゼロ回答」を意味します。省エネ効果の高い HF 蛍光灯に少しずつ転換しても、工事費がかさみ、一斉入札で見込める削減効果もなくなるのです。

## 放射能汚染から子どもたちを守る 実効性ある食品検査を実施すべき

### ☆よつやの質問

《給食について》

- i 厚労省から放射能規制の新基準値が示されたが給食を食べさせたくないという保護者の声にどう対応するか。
- ii 小中学校の給食では放射能検査を実施しているが、検査を実施できない保育所の給食についてどう考えるか。

### ■教育委員会および市の答弁

- i 食材の検査が一層厳格になるため、より安全が確認されると考えが、ご理解いただけない場合は、柔軟な対応も必要であると考えます。
- ii 子どもの健康を願う保護者の不安を解消することは、市の責務と考え、今後も、国や県・保健所などからの情報把握に努め、安全・安心な給食運営に努めていく(市長答弁)。

### ☆よつやの質問

《一般食品の検査について》

- iii 新基準値では牛乳や乳児用食品も 50Bq/kg となるが、特に乳児用食品の検査はどのような形を考えているか。
- iv 現在保健所が持つ簡易食品放射能測定器を、もっと活用すべきと思うが、どのように考えるか。

### ■市の答弁

- iii 1月から3検体について精密検査をおこなったが放射性物質は検出されなかった。4月以降も定期的に乳児用食品の精密検査を行っていく。
- iv 4月以降も、国や県などの動向を踏まえ、簡易食品放射能測定器で測定可能な食品について測定する。

#### 答弁に対するよつや薫の考え方

i は、給食を食べさせたくないという保護者の、放射能汚染から幼い子どもたちを守りたいという希望に応じる当然の答えといえます。

保育所の給食については、実質的には一般の食品検査しかなく、改善すべきは、汚染食材が含まれないよう、献立の段階で食材や産地をチェックする体制を整えるべきです。

iii で、特に乳児用食品の検査について聞いたのは、新基準値がチェルノブイリ事故の影響が残るベラルーシよりも緩い数値(ベラルーシは 37Bq/kg)だからで、検出限界値 2 ベクレルの精密検査をするのは当然といえます。

iv は、頻繁には使われていない測定器をもっと有効に使うべきとの趣旨でしたが、その答えはありませんでした。

2001年に「配偶者からの暴力の防止および被害者の保護に関する法律」(DV防止法)が施行され、市はこの間、DV対策を講じてきました。

2008年の改正によって新たに「DV計画の策定」と「DVセンターの設置」が努力義務とされ、それに向けて動いてきました。今回、西宮市男女共同参画プランの中間改訂を機にDV対策基本計画が策定されセンターも「開設」となりました。「開設」とはいえ施設を設置するのではなく従来の婦人相談員の増員にとどまるものです。

計画策定の分科会の委員として他市の状況などを示しながら当事者支援の立場から詳しい提言をされてきた「W・Sひょうご」のMさんに寄稿いただきました。

兵庫県内では 41 市町中 19 市町 (2011 年度末現在) で DV 計画が策定されています。

西宮市の DV 対策基本計画分科会では、私は民間機関の知見から提言しました。会議には毎回傍聴者がいて心強かったです。計画の 5 つの基本目標は①相談体制の充実②被害者の安全確保③自立支援④支援者の資質向上⑤DV 防止に向けた啓発・教育一です。重点施策や数値目標も挙げられています。今後進捗状況の点検や進捗度評価も行われます。「DV センター開設」がされ、相談体制の充実、ワンストップ化により、被害者支援がよりスムーズになることを期待します。計画に入らなかったが課題だと思うのは、当事者からのヒアリング、外国籍の相談者への通訳制度などがあります。

今後も西宮市の DV 施策がよりよいものとなるよう働きかけをしていきたいと思っています。

※W・Sひょうご：DV被害者のための相談・支援団体

## 議会改革特別委員会の現状

### 議員のお手盛り＝特権は続ける“議会改革”

無所属議員としてのこの一年足らずは、議会改革特別委員会を傍聴してきましたが、その間「改革」とはほどとおい、後ろ向きで「議員特権は守り、強化する」ものがほとんどでした。

- i 役職報酬加算の固定化⇒近隣他市では「役職報酬加算」がそもそもありません。
- ii 視察旅費の支出拡大という逆行⇒一度削減した旅費の支出の範囲を広めようとしています。
- iii 陳情者の範囲の実質的な制限

唯一、進んだのは「請願者の意見表明の機会」の確保です。これは私も議員になった当初から一貫して主張したことで、ようやく実施の見通しがたちました。

なくそう！議員特権 ⑰